

# 中本丸だより

令和3年度 第11号 令和4年2月22日(火)  
新発田市立本丸中学校  
新発田市緑町2-7-22  
TEL 0254-22-2525  
FAX 0254-22-0342  
<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



## できる！ ～「成長マインドセット」で実力発揮～

校長 三浦 学

笑顔の春が近づいています。2月までの私立高校入試は、全員無事受験することができました。公立高校入試を無事に受検できるよう、引き続き、諸活動を慎重に進め感染対策を徹底していきます。3年生は同じ学級、学年の仲間のためにも、2、1年生は先輩のためにも、感染予防に細心の注意を払い行動するようお願いしています。感染予防・対策について、15日付け市教育委員会文書のように、保護者、ご家族の皆様におかれましてもご理解、ご協力をお願いいたします。

全校朝会(1/31)で永守重信さんの話をしました。起業時は大会社になかなか相手にしてもらえず、無理難題を言われた時によくやったのは、みんなで一緒に「できる、できる、できる」と100回言い、何度も繰り返すこと。200回、300回ではその気になれなかったが、500回を越える頃から何となくできるような気がしてくる。その高揚したハイな気分をエネルギーにして発注元が満足する製品を作り出すことができた。どんな逆境の中にもでも明るい兆しを見つけることができるもの。不可能になるのは、自分で不可能だと決めつけるからと言います(『成しとげる力』より)。

「できる」、つまり「目標をもって努力を続ければ、能力を伸ばすことができる、できるようになる」という心のあり方、もち方を「成長マインドセット」といいます。実力を100%発揮するための「フローに入る鉄則②」(岩出雅之監督)として学校だより第4号で紹介したものです。

**"If I believe I cannot do something, it makes me incapable of doing it. But when I believe I can, then I acquire the ability to do it, even if I did not have the ability in the beginning."**

(『自分の強みを見つけよう 「8つの知能」で未来を切り開く』有賀三夏 著より) これはマハトマ・ガンジーさんの言葉です。訳は「もし、できないと思い込んでしまったら、それをする能力を自分から失うことになる。しかし、できると信じれば、それをする能力を得ることになるのだ。たとえ、はじめはその能力がなかったとしても」。まさに「成長マインドセット」の大切さを述べています。その研究をした方がキャロル・ドゥエック教授です。「成長マインドセット」の人は、うまくいかないときに粘り強く頑張れる。自分をダメと決めつけない。苦境に追い込まれても失敗を恐れず試練に立ち向かい乗り越える。困難に挑戦し、成長し高い成果を達成できる。それは、成功への道筋はたくさんある。結果がどうなるろうとも、今、力を注いでいることそれ自体に意義を見出すことができると思えるからなのです(参考図書『マインドセット「やればできる!」の研究』より)。

ドゥエック教授は、教師や親のマインドセットが与える影響も紹介しています。成長マインドセットの教師の指導を受けた生徒は、学年の始めの水準に関係なく、学年の終わりに全員が成績良好群に入っていたのです。マインドセットによって、学びに向かう力、日々の振る舞いや仲間との関係、自尊心、人間性、成績などまで違ってくるのです。岩出監督は、成長マインドセットにするには、結果ではなく努力のプロセスをほめて導くこと、大人自身が成長マインドセットで物事を捉え行動することが大切だと言います(『常勝集団のプリンシプル』より)。ドゥエック教授は、著書の結びでこう述べています。(自分自身が成長マインドセットに変わったことで)「人生の質が変わったのが分かる。以前よりも豊かな人生を送れるようになった。失敗を恐れずに、生き生きと、素直に生きられるようになった」と。目標達成に向けた生徒の挑戦にご支援をお願いいたします。